



# 学校だより

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で

令和8年6月号

横浜市立谷本小学校

## ギンランをご存じですか？

校長 阿部一平

木々の緑が澄み渡る青空に映え、初夏の訪れを感じる季節となりました。少し歩くだけで額に汗がにじむこの頃ですが、谷本小の校庭に届く風は、森や竹林を抜けてくるためか、どこか爽やかさを帯びているように感じます。

そんな谷本の森も、手入れを怠ると、たちまち人が入ることも難しい状態になってしまいます。折れ枝の片付けや遊歩道の整備など、継続した管理が欠かせません。そのため本校では、学校と地域の宝である「谷本の森」を守るために、保全委員会の皆さんや森林インストラクターの方々、たぬきクラブ、保護者の皆さん、そして子どもたちとともに、年に2回の保全活動を行っています。

1回目となる5月9日の活動には、約90名が参加し、一斉に森の整備を行いました。その際に見つけたのが「ギンラン」です。森林インストラクターの方から「この花は絶滅危惧種に指定されていて、この地域で見つかるのはとても貴重なことなんですよ。」と教えていただきました。ギンランは、下草刈りなど適切な手入れが行われた環境でしか咲かないそうです。白く小さな可憐な花は、これまで地域と学校が一体となって森を大切に守ってきた証であると、改めて実感しました。

早速手伝ってくれていた子どもたちを呼び、「みんなが森を大切にしてくれたから咲いた特別な花なんだよ」と伝えました。子どもたちにとって、これ以上ない学びの教材です。これをきっかけに調べたり、考えたり、さらに興味を広げていく姿が目に見えます。

谷本の森は、ただの自然ではなく、地域と学校、そして子どもたちの思いが重なって育まれてきた大切な財産です。今回見つけたギンランは、その価値をあらためて私たちに教えてくれました。これからも子どもたちとともに、この森を守り、学びを深めていきたいと思えます。地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



谷本の森で見つけた「ギンラン」

↓ 次ページがあります ↓

## ミニコラム ～ど根性ひまわりの種～



学校運営協議会委員であり、地域の民生委員協議会の会長でもいらっしゃる小嶋 優様より「ど根性ひまわりの種」をいただきました。この種は、同じく民生委員でいらっしゃる吉村なお子様から受け継がれたものだそうです。

吉村様のお便りには、東日本大震災後の石巻の様子が綴られていました。「震災から約二週間後、がれきの中に「がんばろう!石巻」という看板が立てられました。流れ着いた木材で作られたその看板は、人々を励まし、やがて復興の象徴となりました。その夏、看板の周りにひまわりが芽を出し、花を咲かせました。津波や塩害にも負けずに咲くそのたくましい姿は、人々に大きな勇気を与え、「ど根性ひまわり」と呼ばれるようになりました。最初に採れた約 150 個の種は、命をつなぎ、今では 15 代目へと受け継がれています。(一部抜粋)」

今回いただいた種も、その大切な命のバトンの一つです。職員や子どもたちにこのお話を伝えました。子どもたちの手で育てられた 16 代目のひまわりが、学校のあちこちで力強く咲き、思いを未来へとつないでくれることを願っています。

取り組みの様子などは、学校のホームページなどでもご紹介していきたいと思っています。